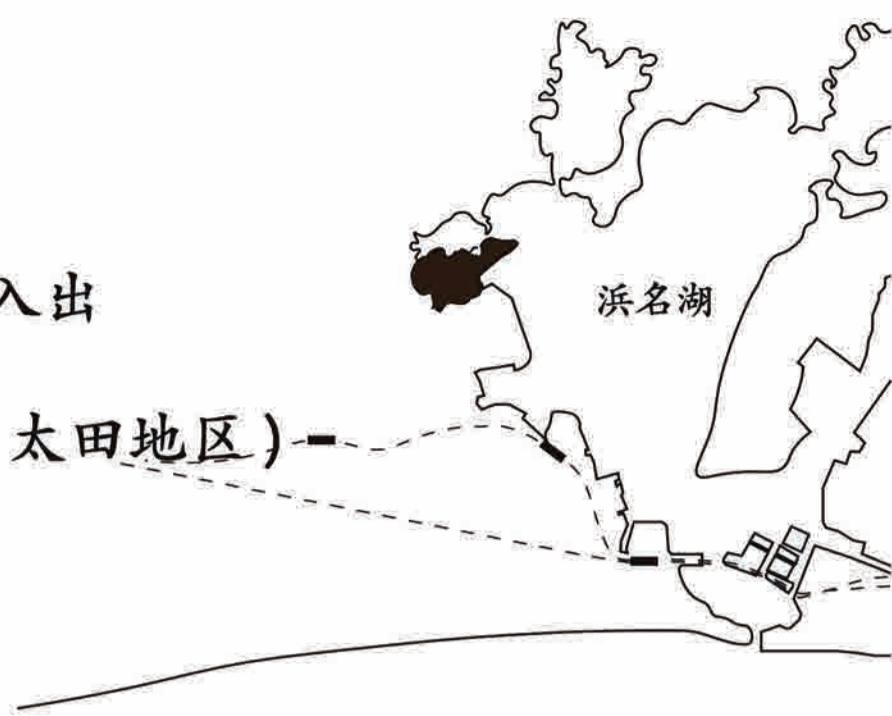


# 敷地 入出村

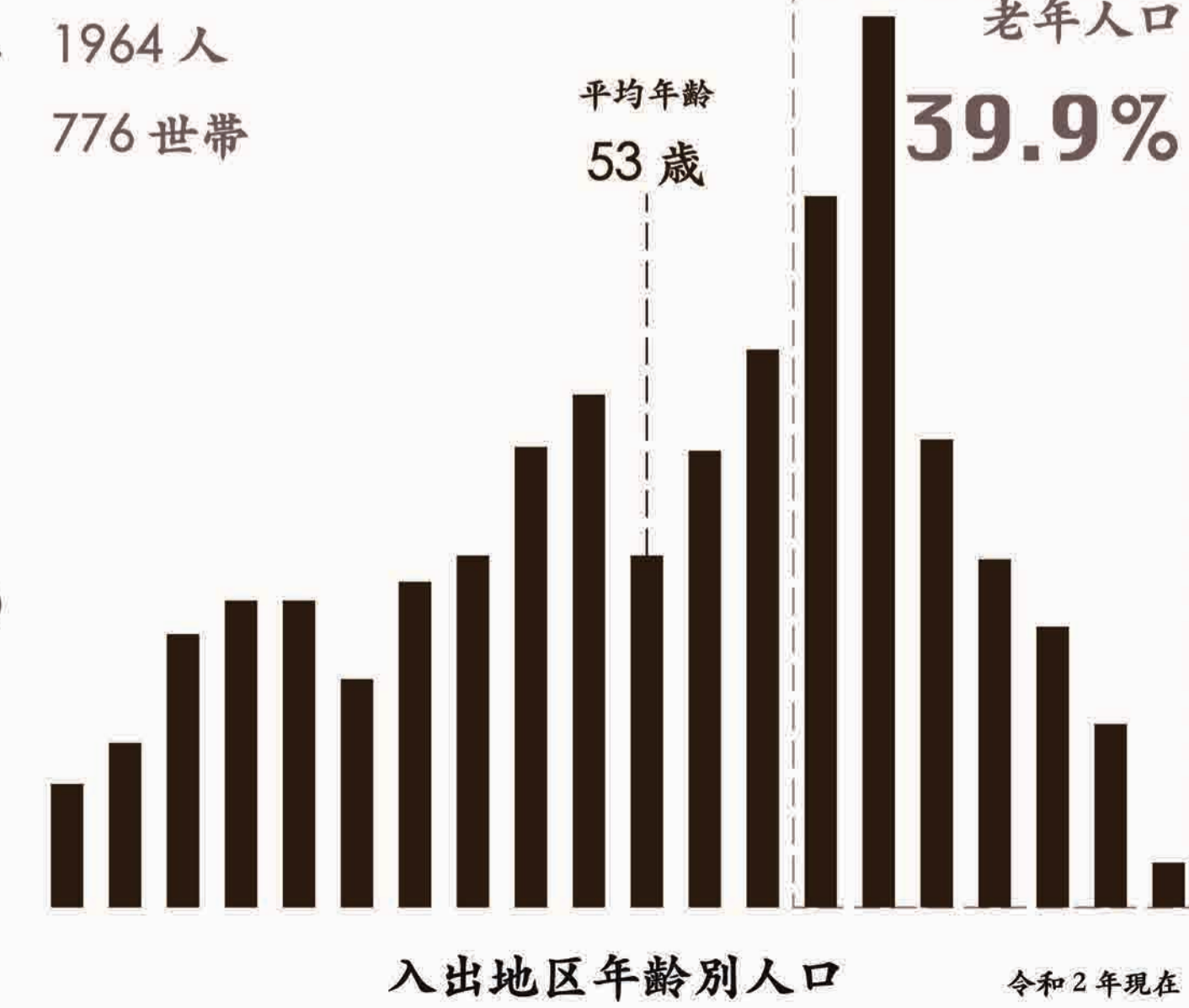
- 現 静岡県湖西市入出
- 既存集落(入出-太田地区)



## “第一次産業”により発展した入出村

- 年代不詳 漁業に都合の良い東方海岸に漁師の寝る小屋を作る。
- 1506年 宇津山に今川氏親が城を築く。海上交通の中心地に。
- 1568年 内浦の魚を家康に献上。漁業の特権を得る。発展。
- 1632年 大雨と高潮で内浦に海水流入。漁法六帖網を考案。
- 明治以降 水産加工(佃煮)や仲買、漁船の建設の職人が誕生。
- 明治末 六帖網漁が廃れ罟目網漁へ
- 1940年 人口増加で食糧危機。米の需要拡大。(畑 65ha 田 20ha)
- 1945年 戦地帰還より更なる食糧危機。内浦干拓による田作り。
- 1954年 堤防決壊を乗り越え初の収穫へ
- 1975年 農村基盤総合整備パイロット事業
- 1955年 近隣地域と合併し湖西町に(現湖西市)参考:湖西風土記文庫

## 入出地区の高齢化



## 第一次産業の衰退

